



市民フォーラム 高橋 剛 6
土のうステーションの拡充

問 差し迫る浸水に対処するため、土のうは防災備品として必需品。市民が自ら土のうを持ち出し使用できる土のうステーションを拡充すべきでは？

答 建設部長 土のうステーションについては、大雨や台風による家屋への浸水被害を市民が自主的に警戒、防止することを目的として、平成29年8月に市内3カ所設置し、

今後の土のうステーションの拡充については、台風第21号において被害の大きかった寺尾地区をはじめ、浸水被害の防止を目的に、関係自治会と調整を図りながら設置に向け検討していきたいと考えている。

問 新河岸川の治水と水害
問 公園計画の見直し



市民フォーラム 牛窪 多吉男 7
焼米橋の再建

問 九十九川に再建されることになった焼米橋の、地域に及ぼす効果について市はどのように考えるのか。

答 建設部長 小学校や中学校までの通学距離の短縮が図られることに加え、南古谷駅へのアクセス道路としても利用できることから、児童・生徒ならびに高齢者などの交通弱者も含めたさまざま

な人の利用が見込まれ、日々の生活における安全性や利便性が大きく向上するものと考えている。併せて、災害時においても避難所などに向かうルートが増えることから、防災安全面においても貢献できるものと考えている。

問 焼米橋の再建
問 荒川の洪水対策



民進党 片野 広隆 8
市長は誠意ある対応を！

問 狭山市分にかかる違法状態の川越市道問題への市長の対応は、全く誠意を感じない。狭山市と狭山市議会に対し誠実に謝罪し協力を仰ぐべきでは。

答 市長 今後のことに関して、狭山市長におわびに伺い、その後の手順について相談した上で、対応していきたいと考えている。

問 市立川越の諸課題
問 市道について



日本共産党 池浜 あけみ 9
プラゴミを減らす取り組み

問 ペットボトルと容器包装の資源化費用は平成28年度で約2億8千万円かかっている。プラごみを減らすことが必要と考えるが市はどう取り組むか。

答 環境部長 毎年各家庭に配布している「家庭ごみの分け方・出し方」や市のホームページ、ごみ分別アプリの配信、出前講座等で適正な分別・排出を啓発している。

また、プラスチックごみ自体を減らす工夫として、市民や事業所の協力を得て、容器ごみの発生抑制としてのマイボトルの使用や不要なレジ袋を持ち帰らないようマイバッグの普及等、さらなる減量に向けて取り組んでいきたいと考えている。

問 プラごみを減らす取組
問 山田地区の諸課題



日本共産党 長田 雅基 10
学童保育前進の計画策定を

問 子どもたちの豊かな放課後の居場所を保障するため、学童保育事業のさらなる前進を目指し、計画等を策定するべきと考えるが、教育長の考えは。

答 教育長 学童保育室の入室希望児童数は、しばらくの間、増加するものと想定され、学童保育室の役割も大きなものとなつていくと考えているので、計画等について、今

後、調査・研究していきたいと考えている。



日本共産党 今野 英子 11
災害時市長がすべきことは

問 災害時、トップがなすべきことは、最悪の事態を想定して行動すること。市長は災害時、市役所に駆け付け、陣頭指揮をとるつもりがないのか何う。

答 市長 災害時に首長がとるべき行動に書かれていることを踏まえつつ、具体的状況次第で行動を決めたいと考えている。

問 中小業者の支援施策
問 台風第21号の対応

